

続々と『サクラサク』!!

1月末から実施されてきた他府県の高等学校や国立学校、大阪府の私立高校、高等専修学校の入学試験が一通り終了しました。今年は新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの実施となりましたが、志望していた生徒は全員トラブルもなく無事に受験することが

できました。ご家庭でのご協力、ありがとうございました。先週末から合格の知らせが続々と届き、校内に喜びの声が響いています。しかし、まだまだこれから大阪府公立高校特別選抜、一般選抜と続きます。最後まで気を抜かず頑張らしましょう。本日の全校集会は雨のため明日に順延されました。皆さんの元気な顔を楽しみにしています。



ところで、先週土曜日の深夜、福島県・宮城県で震度6強の地震がありました。M7.1の震源は福島県沖の深さ60kmで、津波の危険はなかったということでしたが、多くの被害者が出ました。また、がけ崩れや停電など大きな被害もありました。大阪も震度2ということでもずか

に揺れを感じた人も多かったのではないのでしょうか。あの東日本大震災から10年目を迎える本年。再び災害の恐さを突き付けられる週末となりました。再度お家の皆さんで防災について考えてみてください。

続いて、生徒の皆さんにはプリントを配布し、学校ホームページにも掲載しましたが、大阪市教育委員会の教育長から皆さんへメッセージがありました。大要は「コロナ禍の中で、不安や心配なこと、イライラが積もって苦しんでいるのではないのでしょうか。皆さんはこの世の中で、ただ一人のかけがえのない存在です。また、皆さんの命は、世界中の人たちから守られるべき、かけがえのない、たった一つの命なのです。その命を大切にしてください。」というものです。

このメッセージの背景には、まず、この10年間、減少を続けていた自殺者の数が、令和2年は増加に転じているということがあります（警察庁及び厚生労働省からの発表）。特に10代においては、この10年間減少しておらず、令和2年はさらに増加しているという現状を踏まえて出されました。また、「子どもの権利条約」が1989年に196もの国や地域の代表が集まって、国連で採択されてから30年以上、日本が批准して25年以上が経過しました。現在、コロナ禍の拡大やその長期化の影響で社会不安が募る中、子どもたちの心身のケアという課題に、全力を尽くしていくという思いが込められています。



《“合格ダルマ”
と“輝樹”》

